

平成 26 年度 泉区外国人意識調査報告書がまとまりました

泉区では、区内在住の日本人と外国人が互いの文化を尊重し、暮らすことができる多文化共生のまちづくりを進めています。こうした中で、今後の多文化共生施策の基礎資料として活用することを目的に、平成 21 年度実施「泉区外国籍区民ニーズ調査」（以下、前回調査）に引き続き、「泉区外国人意識調査」を実施しました。

このたび、調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

調査の概要

調査対象	: 700 人（区内在住外国人のうち満 20 歳以上の人） （住民基本台帳からの無作為抽出）
回収数	: 277 件
回収率	: 39.6%
調査方法	: 郵送によるアンケート形式
調査期間	: 平成 26 年 8 月～9 月

調査結果のポイント(抜粋)

◆生活の満足度や困っていること

「日常生活の中で何か困っていること」の第 1 位は、前回調査と同じ「言葉が通じない」（30.0%）でした。第 2 位「特にない」（26.7%）を除くと、前回調査と比較して最もポイントが伸びたのは「災害時・緊急時の対応」（23.5%：9.5 ポイント増）となりました。

◆地域とのつながり

「やってみたい地域活動」について、「日本に来たばかりの外国人の支援」（25.6%）と回答する人が多く、「参加したくない」（32.9%）と回答した人は、現在「特に参加していない」（75.8%）と回答した人に対して、3 割程度にとどまりました。

◆防災

前回調査と今回調査の間に東日本大震災が発生し、防災に関する意識の高まりがみられます。災害への備えとして、「食料や飲料水を準備している」（46.9%）と回答したが最も多く、前回調査より 19 ポイント増加しました。また「特に何もしていない」（18.8%）と回答した人は、前回調査「準備をしていない」（30.2%）と比較して 11.4 ポイント減少しました。

調査結果の報告書は下記ホームページからご覧いただけます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/izumi/03shinkou/02kumin/tabunka.html>

お問合せ先

泉区地域振興課長 遠藤 令子 Tel 045-800-2390

ポイント① 生活の満足度や困っていること（問 11） 言葉が通じないが約 3 割

「日常生活の中で何か困っていること」の第 1 位は、平成 21 年度「泉区外国籍区民ニーズ調査」（以下、前回調査）と同じ「言葉が通じない」（30.0%）である。前回調査との比較では、13.2 ポイント減。また、平成 25 年度「横浜市外国人意識調査」（以下、横浜市調査）との比較では、5.3 ポイント増となっている。

「災害時・緊急時の対応」（23.5%）について、前回調査との比較では、9.5 ポイント増、横浜市調査との比較では、10.5 ポイント増となっている。

順位	項目	今回調査	前回調査	横浜市調査
1	言葉が通じない	30.0%	43.2% (1)	※1 24.7% (1)
2	特になし	26.7%	15.8% (6)	21.7% (2)
3	病気やケガをした時の対応	25.6%	18.9% (4)	※2 - -
4	災害時・緊急時の対応	23.5%	14.0% (9)	13.0% (7)
5	母語情報の少なさ	18.1%	18.5% (5)	7.8% (15)

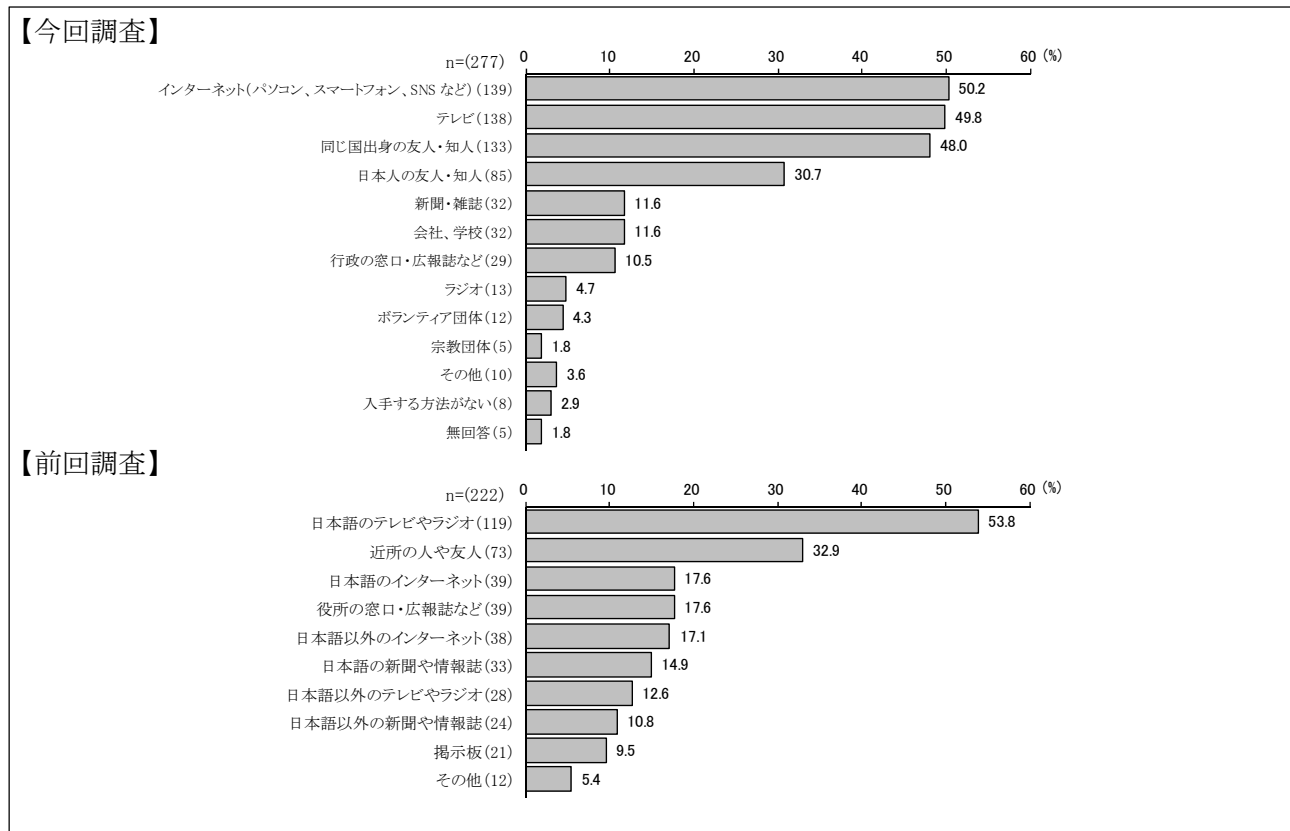
※ () 内は前回調査での順位

※1 横浜市調査では項目名「日本語の不自由さ」

※2 横浜市調査では該当項目なし

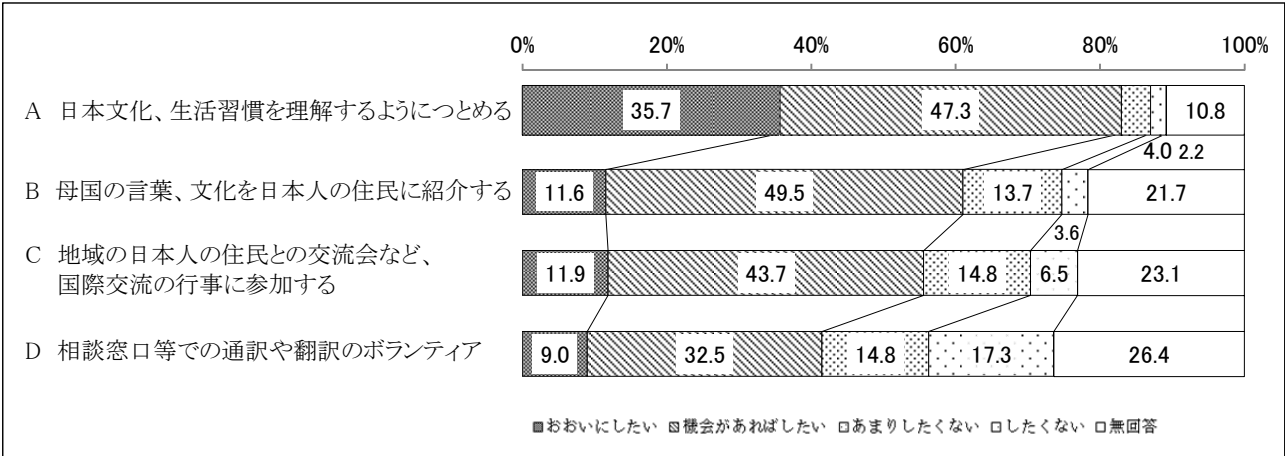
ポイント② 情報入手の方法（問 15） インターネットの増加

今回調査の「インターネット（パソコン、スマートフォン、SNS など）」（50.2%）は、前回調査の「日本語のインターネット」（17.6%）、「日本語以外のインターネット」（17.1%）を合わせた 34.7%より 15.5 ポイント高くなっている。



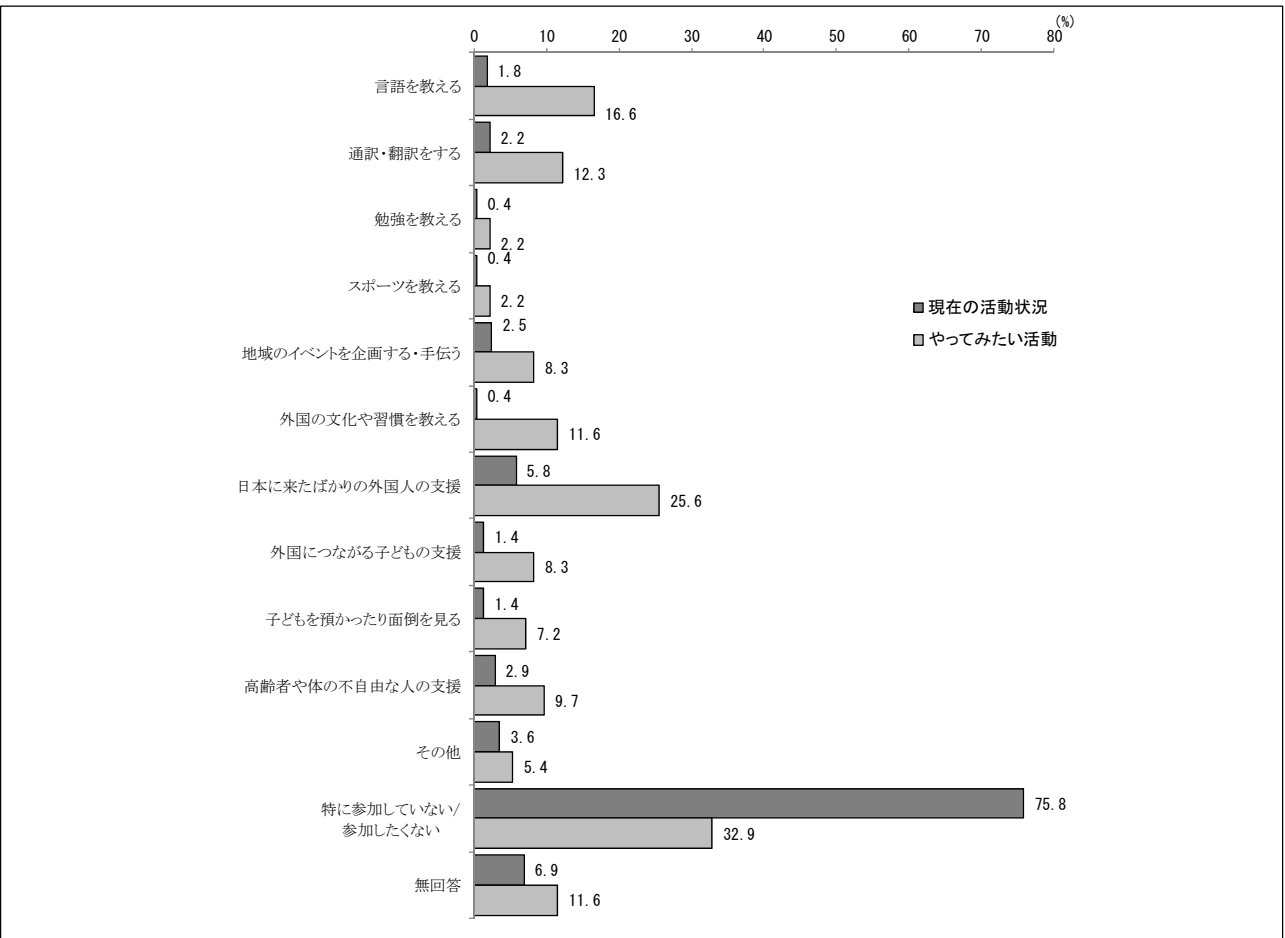
ポイント③ 多文化共生（問 17・18） 互いの文化を理解する

「多文化共生のまちづくり」についてしたいと思うことでは、「おおいにしたい」、「機会があればしたい」を合わせると「日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる」（83.0%）が最も高く、次いで「母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する」（61.1%）となっている。



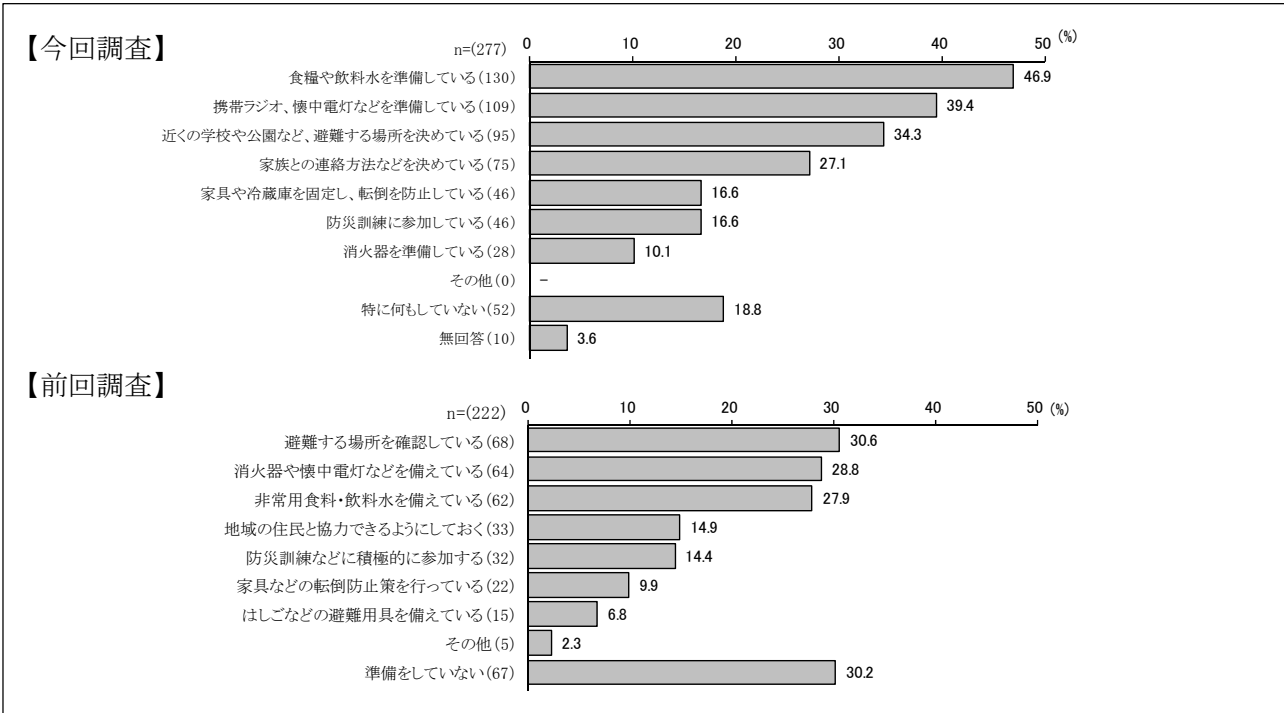
ポイント④ 地域とのつながり（問 19～22） 地域活動への意向

「やってみたい地域活動」では、「参加したくない」（32.9%）を除くと、「日本に来たばかりの外国人の支援」（25.6%）と回答した人が最も多い。現在活動に「特に参加していない」（75.8%）という回答に対して、「参加したくない」と回答した人は3割程度にとどまっている。



ポイント⑤ 防災について（問 23～25） 災害への備え

「食糧や飲料水を準備している」(46.9%) が最も高く、次いで「携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している」(39.4%) となっている。また、前回調査「準備をしていない」(30.2%) と回答した人と比較して、「特に何も準備していない」(18.8%) は11.4ポイント低くなっている。



ポイント⑥ ことばについて（問 26～30） 日本語学習の意向

「日本語を学んでいない」(50.9%) と回答した人のうち約7割が日本語学習の意向があると回答している。また、「日本語を学ぶとしたら、どのようなところで学ぶか」では、「無料で学べるボランティアの教室」(46.9%) が第1位、「自宅や勤務先から近い教室」(31.8%) が第2位、「費用が安い公的機関」(21.7%) は第3位となっている。

